

男女共同参画推進室 しあわせぶんたん

社会の変革期にあって、経済的効率第一の仕組みから、ひとりひとりの生活や価値観を尊重し、持続可能な社会の仕組みをデザインしていくことがますます大切になっているのだと思います。

男女共同参画推進室では、多様な人材に活躍いただけるようにダイバーシティの促進やワーク・ライフ・バランスの取れた労働環境づくりに取り組んでいます。また、結婚・育児・介護などのライフイベントと仕事の両立をサポートする取り組みを始めています。

高知大学の男女共同参画推進室の愛称は、「しあわせぶんたん」です。家事や仕事の分担というよりは、幸せをみんなで分担していく発想で取り組みたいという思いから名付けました。

私自身、育児と介護に試行錯誤で取り組み中です。

大学の男女共同参画の取り組みについて、皆様の工夫、アイデアを男女共同参画推進室までお寄せください。



男女共同参画推進室長
特任講師 廣瀬 淳一
Junichi Hirose

男女共同参画支援ステーション

Vita-min
the Station for Vitalizing Your Challenging Mind

ヘーゲル哲学を専門としています。若手女性研究者として、大学院時代から、出版社に企画書を出して哲学書を上梓したり、学会や研究会で積極的に発表したりと精力的に活動してきました。博士論文を上梓した著書「ヘーゲル 精神の深さ」は、日本ヘーゲル学会第4回研究奨励賞を受賞しました。自分自身の経験を生かして、女性研究者のキャリア支援やキャリア相談に携わっています。

哲学の分野から、男女共同参画の研究活動にも携わっております。育児・介護と研究の両立、ワーク・ライフ・バランス支援等のご相談がありましたらお寄せください。

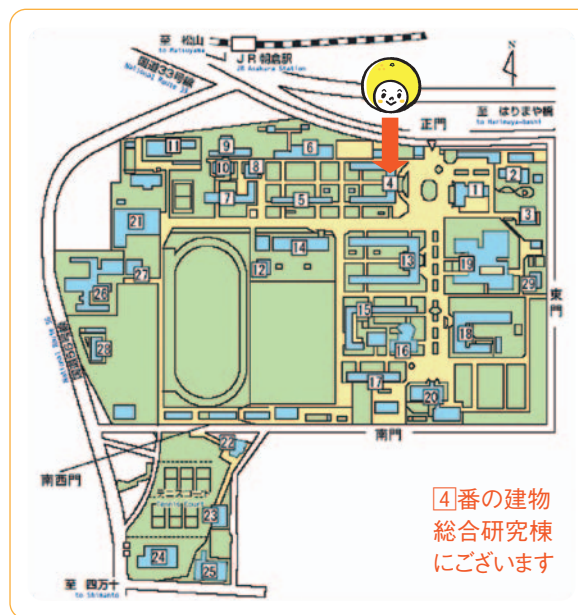
大学における男女共同参画の推進のために取り組んでまいります。



男女共同参画支援ステーション長
プロフェッショナル・キャリアカウンセラー
特任助教 小島 優子
Yuko Kojima

男女共同参画推進室員名簿

室長	廣瀬 淳一	安全・安心機構 男女共同参画推進室	特任講師
男女共同参画支援 ステーション長	小島 優子	安全・安心機構 男女共同参画推進室	特任助教
広報担当	籠尾 千景	男女共同参画推進室	事務補佐員
経理担当	古味 裕子	男女共同参画推進室	事務補佐員
兼務	中川 香代	人文学部	教授
兼務	森田 美佐	教育学部	准教授
兼務	岩佐 和幸	人文学部	教授



④番の建物
総合研究棟
にございます

国立大学法人 高知大学

男女共同参画推進室 しあわせぶんたん

男女共同参画支援ステーション Vita-min

the Station for Vitalizing Your Challenging Mind

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
TEL (088) 888-8022 FAX (088) 888-8023
E-mail : sankaku@kochi-u.ac.jp
<http://www.kochi-u.ac.jp/sankaku/>

高知大学 男女共同参画推進室

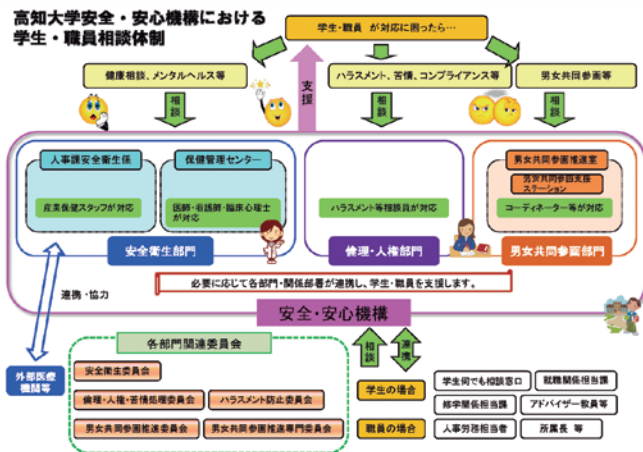
しあわせぶんたん

Kochi University



平成24年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「女性研究者研究活動支援事業」

男女共同参画推進室の体制



男女共同参画支援ステーション

Vita-min

the Station for Vitalizing Your Challenging Mind

平成24年度、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択されました。これを機会に、平成25年1月、男女共同参画推進室内に男女共同参画支援ステーション Vita-minを設置し、研究者の介護・育児などライフイベントと仕事の両立支援及び女性研究者の研究活動支援事業をより効果的に推進する取り組みを行っています。

愛称のVita-minは、チャレンジする人を応援するオフィスという意味を込めて、the Station for Vitalizing Your Challenging Mind から名付けました。

チャレンジするひとを応援します。
持続的に女性研究者を育成・支援する
仕組みづくりに取り組んでいます。

研究支援員制度の実施

キャリア支援・セミナーの開催

相談コーナーの運営

対象 教職員・学生(男女不問)

時間 9:00～16:00(月～金)

研究職キャリア相談や、育児・介護と仕事の両立支援相談を受け付けています。皆様のご要望をお寄せください。

- ・育児・介護情報交換
- ・研究職への就職情報
- ・女性の働きやすい企業紹介
- ・女性の働きやすい労働環境の要望
- ・研究キャリアの悩み
- ・女性研究者の交流

担当：小島 優子
(プロフェッショナル・キャリアカウンセラー)

研究支援員制度

研究者と研究支援員は、Win-Winの関係にあります。研究者は研究の支援を受けることができ、研究支援員は研究者から様々な助言を受けることができます。

研究者は研究支援員のメンターとしての役割が期待されています。



持続可能な生活と仕事の環境整備

男女共同参画推進室では、性別・年齢にかかわらず、ひとりひとりがイキイキと働き、暮らせる職場環境を目指して、次の業務に取り組んでいます。

- 男女共同参画の意識啓発
- ワーク・ライフ・バランスの改革推進
- ダイバーシティ(人材多様性)の促進
- 仕事と家族ケア(介護・育児)の両立支援
- 子育て・介護等に関する情報提供
- 地域との連携・交流



朝倉キャンパス
交流会の様子

女性研究者増員の取り組み

高知大学の女性研究者比率

高知大学全体の女性研究者比率は16.6%(平成24年5月現在)です。

高知大学では、平成24年10月22日より、大学ホームページの「教員募集」に、「高知大学では『高知大学における男女共同参画の基本理念・基本方針』のもと、男女共同参画社会の実現をめざしています」と掲載しています。

